

# 文京区アカデミー推進計画策定協議会

## 第4回 生涯学習分科会 次第

日時：平成22年8月3日（火）18:30～20:30

於：文京シビックセンター21階 2101会議室

- 1 開会
- 2 はじめに
- 3 体系づくりに向けた項目（案）の検討
- 4 事業（案）の検討
- 5 骨子（案）の検討
- 6 閉会

### 《配布資料》

【資料生涯－第10号】体系づくりに向けた項目（案）

【資料生涯－第11号】事業（案）とりまとめ資料

【資料生涯－第12号】分野別計画骨子（案）

## 体系づくりに向けた項目（案）

		(分野別の目標)	(基本的な方向)
◎きっかけづくり ◎学習ニーズを満たすため ◎学習を行うにあたって必要な資源 ◎よりよい学習や活動のために	1	いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
			(2) 学習や活動ができる環境の提供
			(3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり
			(4) 様々な学習活動を支援する区立図書館
◎区民の主体的な活動を支える	2	一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実	(1) 学習情報の収集・整理
			(2) 分かりやすい情報提供
			(3) 相談体制の整備・充実
			(4) 地域における情報拠点となる区立図書館
◎計画推進のための仕組みづくり	3	区民・団体の主体的な活動の支援	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
			(2) 活動成果披露の場の充実
			(3) 人材育成の推進
			(4) 人材活用の推進
◎計画推進のための仕組みづくり	4	学習ネットワーク形成のための連携・協働	(1) 区民や地域との連携・協働
			(2) 大学との連携・協働
			(3) 企業・団体との連携・協働
			(4) 各種資源の発掘、保存、活用
◎計画推進のための仕組みづくり	5	計画推進体制の強化	(1) 計画推進体制強化
			(2) 各種事業の質向上の仕組みづくり

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実			
(1)多様な講座や学習機会の提供・充実			
	●「文京学」講座の実施	●文豪たちがどのように文京区で生きていたかの足跡をたどる	○●□教養、健康、スポーツ、地域、歴史、伝統文化、生活技術、パソコン・デジタル機器に関する講座の実施、○幅広い世代が受講しやすいよう、平日・休日、午前・午後・夜間と受講日時を変えて実施
	○●文京アカデミア講座の実施	○教養を学ぶ講座の実施	
	○文京いきいきアカデミア講座(文京区高齢者大学)の実施	○外出が困難な障害者や高齢者や時間に制約のある社会人などを対象、特定の講座を自宅で閲覧できるシステム、●講座は大学、財団、民間の講座など幅広く用意	
	○文京e-ラーニングの充実	○区民の自主的な学習活動の支援、職員の意識改革、区と区民との協働関係の醸成	
	○文京お届け講座の実施	□基本的人権や環境、平和などに関する、区主催の講座の実施	
	□人権・環境・平和等啓発セミナー	○区民の学習の成果の活用、個人・NPO等団体が企画運営する講座の公募実施、●区民が講師、運営を担い、ボランティアとの協働により実施する、●自主学習サークルや生涯学習司による講座	
	○区民プロデュース講座	●誰でも地域アカデミー制度の創設	●家庭やマンションの集会室などを区が「私設アカデミー」と認定し、区民に開放
	○大学プロデュース講座の実施	○大学の持つ高度・専門的な学習機能や人材を活用、大学プロデュース特別講座として大学学長の講演会を実施、●各大学の得意分野を活かした講座の実施、大学との十分な連携の促進、□ひとつのテーマについて連携している大学から複数名講師を招き、セミナーを行う	
	○資格取得キャリアアップ講座	○キャリアアップ支援講座を大学と連携して実施、●幼い子どもがいる親の再就職やキャリアアップのための講座を実施	
	●民間カルチャースクールによる講座の実施	●民間カルチャースクールと連携し、講座を開講する	
	○ふれあいのつどい事業	○「クイズぶらりdeさんぽ」などにより、区民の区内文化・芸術関連施設、名所・旧跡等の理解、アカデミー育成人材の活動の活性化、これまでアカデミーで育成した人材の活動の活性化促進	
	○メセナ講座の実施	○社会貢献活動の一貫、民間企業から講座の企画・提案を募り協働実施	
	○ふるさと歴史館事業の充実	○ふるさと歴史館の展示の充実、○史跡めぐりをふるさと歴史館友の会と協働で実施、地域の歴史・文化財の紹介と啓発	
	○(仮称) 鷗外記念館の新設	○「(仮称) 森鷗外記念館整備検討委員会報告書」(平成21年3月)に基づき新築整備	
	○文化・芸術に親しみ、区民等が交流する参加型事業の実施	○文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施、○演劇の学び・演じ、オペラの公演を目標とした講習会、地域コミュニティーの活性化、○有名オーケストラ等との提携	
	○「文の京文化発信プロジェクト」	○文京区らしさを生かした演劇、音楽、伝統芸能、美術などの芸術文化の創造・発信、事業を通じた交流	
	○小・中学生のための歴史教室	○区内在住、在学の小・中学生を対象、歴史・文化についての教室を開催、文京区への興味と愛着心	

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
	<b>(2)学習や活動ができる環境の提供</b>		
	●区立施設活用促進	●地域アカデミー、区民センター等の区立施設の活用、●区立学校の開放、●地域活動センター「ふれあいサロン」開放、□図書館まつり開催	
	○区内公立・民間施設の開放要請	○区内公立施設や民間団体・企業等の所有する施設を地域に開放するよう要請、●都立学校の開放、●寺社仏閣の開放要請	
	○大学施設の開放要請	○大学の文化芸術・体育施設等の区民開放	
	○学習資材等の貸出しの充実及び有効活用	○学習や地域活動に必要な資材や視聴覚学習資料の貸し出し、シビックシネマサロンを開催(毎月第3金曜日)、●学習機材の更新を適宜実施	
	○アカデミー文京及び地域アカデミーの整備	○アカデミー構想を推進するための拠点、多目的な活用を図る施設としての機能整備	
	(1(1)再掲) ●誰でも地域アカデミー制度の創設	●家庭やマンションの集会室などを区が「私設アカデミー」と認定し、区民に解放	
	○文京区インターネット施設利用ネットワーク	○●文京シビックホール、スカイホール、アカデミー文京、地域アカデミー、体育館、屋外運動場、テニスコート、目白台運動公園、区民会議室、区民センター、シルバーセンター、障害者会館の各施設がインターネット上で相互に事業案内・施設予約できるネットワークを構築、●各施設のフィードバック欄作成、□携帯電話対応整備	
	<b>(3)だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり</b>		
	●会員募集方法や会員間の連絡方法の導入	●メーリングリストなどの導入指導の実施	
	●ミッドナイトゼミの実施	●アカデミー文京の施設を講座実施のために22時まで開放し、20～22時ないし21～22時の時間帯に講座を実施	
	○講座・講演会等での保育室の設置	○幼児を持つ親の学習活動の参加、講座・講演会等の開催時に保育室を設置	
	○講座・講演会等での手話通訳者や視覚障害者ヘルパーの設置	○障害のある人も講座・講演会等に参加、希望者に手話通訳者、視覚障害者ヘルパーを配置、□ユニバーサルデザインによる事業・施設運営	
	□外国人の地域活動への参加支援	□外国語ボランティアによる通訳	
	○点訳サービスの実施	○点訳ボランティアを募集し、必要な方へ支援を実施	
	○外出が困難な区民への図書宅配サービス	○外出が困難な区民を対象に図書の宅配サービスを実施	
	<b>(4)様々な学習活動を支援する区立図書館</b>		
		検討中	検討中

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
<b>2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実</b>			
<b>(1)学習情報の収集・整理</b>			
	○生涯学習関連情報の収集	○高校や大学の公開講座、社会人入学などに関する情報、そして行政関係及び民間施設など、生涯学習に関する多様な学習情報を収集、●データアナリストの設置、□生涯学習情報データベース構築	
<b>(2)学習情報の収集・整理</b>			
	●生涯学習ホームページの充実	●情報を一元化して発信するホームページの構築、各情報の検索機能追加、●情報をメールマガジンとして配信、●携帯電話からの閲覧対応	
	○文京アカデミア生涯学習1日体験フェア	○講座を紹介するため「文京アカデミア生涯学習一日体験フェア」を開催	
	○文京アカデミア講座案内、(財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	○行政関係及び民間施設など幅広く文化芸術・生涯学習・スポーツに関する多様な情報の収集、講座案内、区報、(財)文京アカデミー機関紙スクエアなどの活字メディア、(財)文京アカデミーHP内への講座案内の掲載。講座申込の受け付け(はがき、インターネット)	
	□生涯学習に関する総合情報ガイドブックの発行	□生涯学習関連の問い合わせ先やホームページのURLの一覧	
	□生涯学習カレンダーの作成	□月ごとのイベント、講座カレンダーを作成、区報もしくはアカデミースクエアなどへの掲載、インターネットでの閲覧	
<b>(3)相談体制の整備・充実</b>			
	●生涯学習相談体制整備	●様々な相談に対応できる相談員を配置、相談員には生涯学習司を活用、●図書館における相談員の配置、●出前相談の実施	
	○生涯学習情報・相談コーナーの設置	○区民プロデュース講座企画者のうち落選者に対して企画改善等の学習相談を実施、●生涯学習司等資格取得者へのフォロー	
<b>(4)地域における情報拠点となる区立図書館</b>			
		検討中	検討中
<b>3 区民・団体の主体的な活動の支援</b>			
<b>(1)主体的な活動を支える仕組みづくり</b>			
	○団体間の連絡会の設置	○サークルが相互に連携を取り、サークル活動を活性化するため、連絡会を開催	
	○社会教育関係団体の登録	○区民の自主的な文化芸術・生涯学習・スポーツの促進、要件を満たす団体の社会教育関係団体としての登録	
	(1(1)再掲)○文京お届け講座の実施	○区民の自主的な学習活動の支援、職員の意識改革、区と区民との協働関係の醸成	
	(1(1)再掲)○区民プロデュース講座	○区民の学習の成果の活用、個人・NPO等団体が企画運営する講座の公募実施、●区民が講師、運営を担い、ボランティアとの協働により実施する、●自主学習サークルや生涯学習司による講座	
	●こらびっとの充実と活用	●団体、サークルの紹介、●連絡システムの構築	
	□学習支援サイト構築	●個人学習システム構築、履修報告システム構築、ブログ、チャット、□情報交換掲示板構築	
	□区報における活動紹介	□区報で各団体や個人の活動を紹介	

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
	<b>(2)活動成果披露の場の充実</b>		
	●地域アカデミーウィークの創設	●地域アカデミーで特定の週ごとにイベントを実施	
	○文京アカデミアゼミ修了生の登用	○文京アカデミアゼミ修了生が文京アカデミア1日体験フェアの企画・運営や学習相談会の相談員として活動する機会を提供	
	○発表会・大会等の自主運営化の促進	○関係団体等による発表会や大会の自主運営を促進	
	(1 (1) 再掲) ○区民プロデュース講座	○区民の学習の成果の活用、個人・NPO等団体が企画運営する講座の公募実施、●区民が講師、運営を担い、ボランティアとの協働により実施する、●自主学習サークルや生涯学習司による講座	
	□アカデミーアワード開催	□作品展覧を行い、選考委員と来庁者の投票により優秀作品を決定。優秀作品は区報で紹介	
	<b>(3)人材育成の推進</b>		
	○人材育成講座	○文京アカデミアサポーター養成講座、生涯学習司養成講座、インタープリター養成講座の3講座を実施、生涯学習支援者の連携を深めるための会合を開催	
	●サークル運営/活性化講座	●サークル運営者を対象に、運営のノウハウなどについて講座を開講	
	○青少年リーダーの育成	○青少年リーダーによるキャンプ・オーバーナイトウォークなどの企画・運営、参加者(小中学生中心)のリーダーシップの育成	
	○文京アカデミアゼミの実施	○文京アカデミー構想の人づくりネットワークの推進、地域に貢献できる人材育成	
	○文京アカデミア学習推進委員会の実施	○区民(委員)自らが講座の企画・運営に携われるような体制整備、講座の企画では文の京生涯学習司にも広く企画を募集、各講座の実施においては文京アカデミアサポーターの中から講座運営の担当者を公募	
	(1 (1) 再掲) ○区民プロデュース講座	○区民の学習の成果の活用、個人・NPO等団体が企画運営する講座の公募実施、●区民が講師、運営を担い、ボランティアとの協働により実施する、●自主学習サークルや生涯学習司による講座	
	(3 (2) 再掲) ○文京アカデミアゼミ修了生の登用	○文京アカデミアゼミ修了生が文京アカデミア1日体験フェアの企画・運営や学習相談会の相談員として活動する機会を提供	
	<b>(4)人材活用の推進</b>		
	○●生涯学習人材バンク活用の検討	○生涯学習司やインタープリター等の人材を活用し、学習の成果を地域に生かしていく事業を展開、●生涯学習司の情報をデータベース化し、財団が管理、地域からの希望でコーディネート、将来は地域アカデミーを主体とした住民自主組織に委託	
	●□ボランティア登録の充実	●講座運営にかかわる区民ボランティアの促進、□生涯学習に関わるボランティアの登録促進	
	□生涯学習指導者等登録制度	□専門知識や技能を持つ指導者や生涯学習サポーターを登録	
	●生涯学習司アドバンスコースの協働実施	●生涯学習司のスキル向上を大学と協働で実施	

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
<b>4 学習ネットワーク形成のための連携・協働</b>			
<b>(1) 区民や地域との連携・協働</b>			
	○近隣区との連携強化の検討	○学習財産のトレード、□行政境界区域住民の相互の受講、など	
	□区民との協働による情報収集の仕組みづくり	□生涯学習に携わることのできる地域の人材など、区民から情報を募集	
	(1 (1) 再掲) ●誰でも地域アカデミー制度の創設	●家庭やマンションの集会室などを区が「私設アカデミー」と認定し、区民に開放	
	(1 (1) 再掲) ○文京お届け講座の実施	○区民の自主的な学習活動の支援、職員の意識改革、区と区民との協働関係の醸成	
<b>(2) 大学との連携・協働</b>			
	○大学の公開講座・講演会の後援	○大学公開講座・講演会の事業内容の広報等の後援、●大学のシンポジウムの際に区のホール等施設を提供	
	(1 (1) 再掲) ○大学プロデュース講座の実施	○大学の持つ高度・専門的な学習機能や人材を活用、大学プロデュース特別講座として大学学長の講演会を実施、●各大学の得意分野を活かした講座の実施、大学との十分な連携の促進、□ひとつのテーマについて連携している大学から複数名講師を招き、セミナーを行う	
	○大学学長懇談会の実施	○大学学長懇談会の開催	
	○大学等との連携の拡大	○大学は文化的資産、区と大学の相互協力、文化・教育の学びの場としての賑わい、○大学の人材を、各種審議会等の委員として活用	
	○大学等と連携を図るための拠点づくり	○大学、教育関係事業者等との連携の核となる新たな拠点づくり	
	○産学公が連携するための拠点づくり	○産学公が連携してキャリアアップ支援を進めていくために、連携の核となる新たな拠点づくりを検討	
<b>(3) 企業・団体との連携・協働</b>			
	●□企業連携講座	●企業の社員による、ビジネスに関する講座、□企業の社員による、マネジメントに関する講座	
	(1 (1) 再掲) ○メセナ講座の実施	○社会貢献活動の一貫、民間企業から講座の企画・提案を募り協働実施	
	(1 (2) 再掲) ○区内公立・民間施設の開放要請	○区内公立施設や民間団体・企業等の所有する施設を地域に開放するよう要請、●都立学校の開放、●寺社仏閣の開放要請	
	○青少年委員活動への支援	○青少年委員への研修会の実施など、青少年委員活動への支援を充実	
<b>(4) 各種資源の発掘、保存、活用</b>			
	(1 (1) 再掲) ○史跡めぐり(ふるさと歴史館)	○地域の歴史・文化財の紹介と啓発、ふるさと歴史館友の会との協働	
	(1 (1) 再掲) ○ふるさと歴史館常設展示の充実	○ふるさと歴史館の展示の充実	
	(1 (1) 再掲) ○(仮称) 鷗外記念館の新設	○「(仮称) 森鷗外記念館整備検討委員会報告書」(平成21年3月)に基づき新築整備	
	□歴史資料の電子化と情報提供の推進	□保有している資料を電子化し、インターネット上でも閲覧できるよう整備	
	□文化財、歴史資料の展示	□保有している資料の出張展示を実施	
	□文化歴史資源の発掘	□各家庭にある文化歴史資源の募集	

<凡例>

●:分科会や意見シートで出た事業案、○:現行計画より継続する事業案、□:その他の事業案

分野別の目標	基本的な方向	事業例(区の実施事情、委員からの意見等)	事業のねらいや実施する内容等のキーワード
<b>5 計画推進体制の強化</b>			
<b>(1)計画推進体制強化</b>			
		○文京区アカデミー推進計画策定協議会	○学識経験者、団体、関連団体、区民等で構成する協議会
		○生涯学習推進本部機能の強化	○生涯学習推進本部において、生涯学習に関する事業・施設等を調整し総合的な施策を展開
		□区民、大学、企業・団体、区との懇談会	□生涯学習に携わる関係者との懇談会を開催
<b>(2)各種事業の質向上の仕組みづくり</b>			
		□PDCAサイクルによる事業運営管理	□行政評価の一環

- 【その他、要検討事業】
- カルチャーセンターの安価で特異な学習コース実現
  - 学習室使用料等の支払方法の改善
  - 生涯学習支援者の会の充実
  - 生涯学習司養成講座自主開講
  - 生涯学習司研究費助成
  - 東京大学教育研究科と「文京区の生涯学習基盤経営」について共同経営
  - 大学一般教養科目の科目履修生の許可
  - 行政実施事業と外部委託事業の仕分け実施
  - 外部委託事業者採用方法の検討
  - 外部委託事業者の業務評価システム及び監視システムの構築



## 分野別計画骨子（案）

### I 生涯学習

#### 1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

##### 【現状と課題】

###### ◆ 現状

本区では、様々な区民の学習ニーズに応えられるよう、教養を高める講座から日々の生活を豊かにするための講座、資格取得やキャリアアップを支援する講座などの充実を図っています。また、生涯学習活動を体験するなど、多くの区民が生涯学習活動に参加できるような取組みも行っています。そのほか、いつでも、どこでも、だれでも学習ができるよう、文京アカデミア講座や講演会の一部のインターネット配信も行ってきました。

しかし、調査では、この1年くらいの間には生涯学習に取り組んだことのある人は41.4%にとどまっており、男女ともに子育て世代で取り組んだことがない人が多くなっています。生涯学習を行わない理由では、男女20～60歳代は「仕事や家事が忙しくて時間がないから」、男性70歳以上は「特に必要ないから」、女性70歳以上は「自分の希望に合う講座や教室がないから」が高くなっています。

それに対し、活動しやすい時間帯については、「土日祝日日中（9時～18時）」「平日日中（9時～18時）」「平日夜間（18時～22時）」の順に望む割合が高く、活動場所については、「図書館」は男女ともに20歳代～50歳代で特に高くなっています。

また、今後取り組みたい生涯学習では、「教養的なもの」「健康・医学・食育」「家庭生活に役立つ技能」「仕事に関係のある知識の習得や資格取得など」の割合が高くなっています。

このように、本区では区民がいつでも、どこでも、だれでも生涯学習ができるように取り組んでいますが、様々な状況にある区民が希望する学習や活動ができるよう、さらに学習の機会を充実させることが重要です。また、講座や教室の内容の充実だけでなく、学習や活動のための施設確保や時間帯の配慮など、参加しやすい仕組みづくりをあわせて行うことが大切です。

###### ◆ 課題

- ① 区民一人ひとりのニーズに対応できる学習機会を充実させることが求められています。
- ② 学習や活動のための場所の確保や充実に努めることが求められています。
- ③ だれもが学習や活動ができるような配慮や仕組みづくりを進めることが求められています。
- ④ 学習の場所として図書館の機能を充実させることが求められています。

## 【基本的な方向】

### (1) 多様な講座や学習機会の提供・充実

- ・ 区民の様々なニーズに対応できる学習機会を提供・充実させるため、教養的な講座から実学的な講座など、バラエティに富んだ機会を用意します。
- ・ 講座の内容については、区民、行政、大学とが役割を分担し、担っていきます。

### (2) 学習や活動ができる環境の提供

- ・ 学習や活動ができる場所を充実させるため、今後、改築する生涯学習施設については、学習の場としてより一層利用しやすい施設にしていきます。
- ・ 学習に必要な場所の充実のほか、学習機材の提供においても充実を図っていきます。

### (3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり

- ・ 様々な状況にある区民一人ひとりの学習や活動を応援するため、時間や場所など、学習や活動を行うにあたっての制約を除くための配慮と支援を行います。
- ・ 比較的時間や場所を問わずに利用できる、インターネットを介した学習環境や情報提供を進めていきます。

### (4) 様々な学習活動を支援する区立図書館

- ・ 障害者、高齢者等をはじめ幅広い世代や対象者に役立つ資料などの収集、レファレンスサービスなどの更なる充実により、区民の学習を支援していきます。
- ・ ビジネスや子育て、医療など、仕事や生活に役立つ資料や情報を積極的に収集提供していきます。
- ・ 子どもの読書活動を支援するために、読書相談や読書活動の指導に関する知識と技術を有する者による、発達段階に応じた子どもへの読書活動を支援していきます。

**期待される効果** ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

【事業例】※事業例は第4回分科会以降に決定

1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

事業名	概要	取組み主体
インターネットを活用した文京アカデミア講座	昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用したe-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。	
生涯学習サポーターの養成	文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。	

\*e-ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。

## 2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実

### 【現状と課題】

#### ◆ 現状

本区では、区民の生涯学習がより豊かなものとなるよう、学習や活動、大学の情報など、生涯学習に関する様々な情報を収集し、ホームページや広報紙、CATVなどを通して情報を提供してきました。また、生涯学習一日体験フェアでは、生涯学習情報・相談コーナーを設置し、情報提供だけでなく、相談対応も行ってきました。

しかし、調査結果では、生涯学習に取り組んでいない理由として、「十分な情報が得られないから」が15.0%挙げられ、特に男性60歳代と女性20歳代では3割を超えています。こうしたことから、あらゆる世代にとって分かりやすく、取得しやすい情報提供が必要であることがうかがえます。

さらに、区が注力すべき課題として「学習や活動について気軽に相談できる窓口を充実すること」が13.0%挙げられており、特に女性50歳代では25.0%挙げられています。現在は、区民プロデュース講座企画者への相談対応は体制を構築し実施していますが、日常的な学習相談についてもさらに強化をしていく必要があるといえます。

これらより、区民が学習や活動を活発に行っていくためには、有効な情報が十分かつ手軽に得られることが大切であると言えます。また、情報提供だけでなく、情報が分かりにくかった際などに気軽に相談できる場があることも重要です。

#### ◆ 課題

- ① 区民の様々な学習や活動のニーズを満たすことのできる情報の収集・整理が求められています。
- ② 収集した情報を分かりやすく、入手しやすい方法で提供することが求められています。
- ③ 区民が気軽に相談できる機会と場が求められています。
- ④ 情報提供において、各地域にある図書館が拠点となることが求められています。

### 【基本的な方向】

#### (1) 学習情報の収集・整理

- ・ 区民一人ひとりの学習や活動意欲を満たすことができるようにするため、各担当課や大学、指定管理者など、生涯学習に関する様々な機関の情報を収集し、一元管理します。

#### (2) 分かりやすい情報提供

- ・ 区民が手軽に欲しい情報を入手できるようにするため、収集した情報を一元化し、様々な情報をひとつの場所で得られるよう工夫します。
- ・ 情報提供においてはインターネットも活用し、いつでもどこでも手軽に情報を得られるように工夫をします。

### (3) 相談体制の整備・充実

- ・ 学習や活動を豊かにするため、区民が気軽に相談できる機会と場を充実させます。
- ・ 区民プロデュース企画者に対する相談にも応じていくことで、区民主体の生涯学習活動を推進していきます。
- ・ 区立図書館として、図書館サービスを担う職員・スタッフの能力などを向上させ、専門性の高い職員等を育成し活用していく研修等の充実を図っていきます。

### (4) 地域における情報拠点となる区立図書館

- ・ 情報通信技術（ICT）の積極的な活用を推進し、ホームページなどの広報を有効に活用し、社会情勢等を見据えたタイムリーな情報を発信していきます。
- ・ 地域特性を活かした資料の収集・提供を行うとともに、地域と連携した事業を展開していきます。

**期待される効果** ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

### 【事業例】※事業例は第4回分科会以降に決定

#### 2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実

事業名	概要	取組み主体
インターネットを活用した文京アカデミア講座	昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用したe-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。	
生涯学習サポーターの養成	文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。	

\* e-ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。

### 3 区民・団体の主体的な活動の支援

#### 【現状と課題】

##### ◆ 現状

本区では、生涯学習活動を行う団体の自主的な活動が活性化していくよう、連絡会の活動を支援しています。

一方、調査では、区が注力すべき課題として「一緒に行う仲間づくりの機会を創出すること」11.3%などが挙げられており、特に男性の方の割合が高くなっています。こうしたことから、区民が主体的に活動や学習を行っていく上では、団体同士のつながりなども含む、仲間がいることが重要であることが分かります。また、団体が自主的な活動を継続できるようにしていくためには、団体運営のノウハウなどの研修や講座を行うことも必要です。

また、本区では、生涯学習司や文の京地域文化インタープリターといった独自の資格制度を設け、本区の生涯学習を推進していく人材の育成を行っています。区民の主体的な生涯学習の活動や学習をさらに推進していくためには、こうした人材の育成をレベルアップしていくことが大切です。

生涯学習司は、企画展の開催や生涯学習一日体験フェアなどにおいて活用を図ったほか、「区民プロデュース講座」も開催し、区民の学習成果を活かした生涯学習を推進してきました。しかし、その一方で、生涯学習司等の資格取得後の活動の場が不足しているという現状も見受けられます。今後は、育成した人材の活躍の場の確保が求められます。また、人材活用については、地域にいる様々な人材の知識や経験を地域に還元することも必要であるといえます。

さらに、主体的な活動の継続において、成果披露の場があることは、意欲向上や成果のまとめにおいて重要な役割を持っています。今後、さらに成果披露の場を充実させることが求められています。

##### ◆ 課題

- ① 区民の主体的な学習や活動を支えるための仕組みづくりが求められています。
- ② 学習や活動をより活性化させるため、成果を披露する機会の充実が求められています。
- ③ 生涯学習司や文の京地域文化インタープリターなど、区独自の資格制度による人材の育成と活用が求められています。
- ④ 地域に存在する学習・活動経験者の知識や経験を地域に還元できるよう、人材活用の推進が求められています。

#### 【基本的な方向】

##### (1) 主体的な活動を支える仕組みづくり

- ・ 主体的な活動を支えるため、団体間の連絡会を設けるなど、団体同士が情報交換できるネットワークの形成、連携を進めます。
- ・ 区民の主体的な活動を支えるため、要件を満たす団体の登録・活動支援を行っている

きます。

## (2) 活動成果披露の場の充実

- ・ 区民の豊かな学習や活動のため、成果を披露する場と機会を充実させます。
- ・ 区民主催の講座の機会を提供していきます。講座の内容については、区民、行政、大学とが役割分担し、担っていきます。特に区民には、趣味や学習の成果を地域に還元することが期待されています。
- ・ 学習者が区民の相談に応じることで、地域にその経験や知識を還元できる機会を設けていきます

## (3) 人材育成の推進

- ・ 学習や活動を豊かにするため、生涯学習司や文の京地域文化インタープリターなどの独自の資格制度によって人材を育成していくとともに、こうした人材が連携を深めるための場を設けていきます。
- ・ 地域における生涯学習活動を活性化するために、地域での活動を担う人材を育成していきます。

## (4) 人材活用の推進

- ・ 学習や活動を活性化させるため、地域にいる学習や活動経験者を活用し、その知識や経験を地域の中で活かしていく機会を設けます。
- ・ 生涯学習司や文の京地域文化インタープリターなどの資格取得者の活躍の場を充実させます。
- ・ 区立図書館において、ライブラリーパートナー（図書館ボランティア）と連携を図るとともに、活動者相互の交流を支援し、読み聞かせ等の読書活動の充実を図ります。

**期待される効果** ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

### 【事業例】 ※事業例は第4回分科会以降に決定

#### 3 区民・団体の主体的な活動の支援

事業名	概要	取組み主体
インターネットを活用した文京アカデミア講座	昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用した e-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。	

\* e- ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24 時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。

生涯学習サポーターの養成	文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。	
--------------	---	--



## 4 学習ネットワーク形成のための連携・協働

### 【現状と課題】

#### ◆ 現状

文京区生涯学習推進計画（第2次改定版）では、生涯学習推進ネットワークの構築を掲げ、推進を図ってきました。特に、区内にある18大学とは、大学プロデュース講座や大学施設開放などを通して、連携・協働を進めています。

大学との連携の重要性は調査にも表れており、区が注力すべき課題として「大学の公開講座などを充実すること」24.2%と、大学との連携・協働に関連する回答が挙がっています。大学との図書館や施設利用、講座開講における連携は、区民一人ひとりの学習や活動ニーズを満たすために重要な役割を持っているといえ、今後も連携・協働をさらに強化していくことが期待されています。

また、企業・団体との連携・協働も進めており、青少年委員活動への支援や、民間団体・企業が所有する施設の地域への開放要請なども行ってきました。区民の生涯学習推進において、民間企業や団体との連携を進めることは、多彩な活動や学習を行っていく上で大切な役割を持っています。

さらに、計画の推進においては、これらの関係者との連携・協働はもちろんのこと、区民と区との協働が重要な項目となっており、引き続き強化を図っていくことが必要です。そのほか、生涯学習がさらに豊かなものとなっていくよう、引き続き各種資源の発掘や活用を進め、区民の様々な学習・活動のニーズに対応していくことも求められています。

このように、様々な関係者、資源とが連携・協働することを通じて、強固な生涯学習ネットワークの形成が、本区の生涯学習の活性化において重要な事項となっています。

#### ◆ 課題

- ① 区民と区との協働体制を整え、より良い学習や活動を進めていくことが求められています。
- ② 教育機関、特に大学との連携・協働を強化進めていくことが求められています。
- ③ 企業や団体との連携・協働により、幅広い分野での学習や活動を進めていくことが求められています。
- ④ あらゆる資源を活用し、区民の様々な学習・活動ニーズに対応していくことが求められています。

### 【基本的な方向】

#### (1) 区民や地域との連携・協働

- ・ 区職員が地域の中に入って区政に関する講座を行うことで、区と区民との協働を促進します。
- ・ 地域住民からの情報を学習や活動の活性化に活用していきます。

## (2) 大学との連携・協働

- ・ 学習や活動をより豊かにするため、大学との連携・協働の強化を図っていきます。大学図書館の区民開放なども引き続き要請していきます。
- ・ 大学が行う講座においては、各大学の特色や得意とする分野を活かした講座を目指します。また、講座の内容については、区民、行政、大学とが役割を分担し、担っていきます。特に大学においては、より専門的な学習について担うことが期待されます。

## (3) 企業・団体との連携・協働

- ・ ビジネスに関する学習機会の充実のため、学習における人材や施設開放において、企業との連携・協働を進めていきます。
- ・ 幅広く、充実した学習や活動を推進するため、区内で活動する様々な団体との連携・協働を進めていきます。

## (4) 各種資源の発掘、保存、活用

- ・ 学習や活動を豊かにしていくため、各種資源の発掘、保存、活用を継続して行い、連携・協働のネットワークを拡大していきます。
- ・ 学習資源の発掘においては、連携・協働する大学や企業が保有する資源も活用し、資源の拡大を目指していきます。また、活用においては、歴史資料のインターネット上での閲覧整備や、出張展示を検討していきます。

**期待される効果** ※期待される効果は第4回分科会以降に決定

- ・ ●●●●

### 【事業例】 ※事業例は第4回分科会以降に決定

#### 4 学習ネットワーク形成のための連携・協働

事業名	概要	取組み主体
インターネットを活用した文京アカデミア講座	昼間の時間をとることが難しい社会人や小さい子どもがいる方、障害のある方など、外出が困難な方にも生涯学習の場を提供するため、自宅のパソコンから文京アカデミアの講座の受講を可能とする、インターネットを活用したe-ネットラーニングシステム*により「文京区配信講座」を実施する。	
生涯学習サポーターの養成	文京アカデミアの講座運営のサポーターを育成するため、養成講座を開講し、修了者の活用を図る。	

\* e-ネットラーニングシステム：インターネットを通じて学習講座を配信することで、24時間自宅で学習できる環境を整備するシステム。